

# 平成21年度業務報告

## 第1 概要

平成21年度においては、同年の事業計画に基づき、タイヤ滑り止め装置の規格・基準の改正に取り組むと共に、JASAA認定品の広報活動を行い、冬季に向けての交通安全の活動に努めた。また、認定品の更新及び取消しについての作業を進めるとともに、新規申請及び小型トラック、トラックの更新試験を実施し、新規認定品2件の合格及び更新3件並びに追加確認試験等で2件の合格があった。さらに、今年度から3年計画で「イタリア提案のISO基準チェーン」の試験実施を開始した。

なお、今年も車販売の減少と暖冬等により、3年連続で認定マークの売り上げが目標に達しなかった。

## 第2 会議の開催

### 1 理事会

#### (1) 平成21年度第1回理事会

平成21年5月26日 「東京グランドホテル」にて開催

ア 平成20年度の業務報告、収支決算報告及び平成21年度収支予算(案)について審議し、原案どおり議決された。

イ 当協会に加盟する滑り止め装置を製造・販売する団体で組織する3つの専門委員会について、加盟団体の減少等により、1団体に統合した「滑り止め装置専門委員会」とする規約の改正を行った。

#### (2) 平成21年度第2回理事会

平成22年3月16日 「仏教伝道センター」にて開催

ア 評議員の改選年であることから、

塩田 透氏を中澤見山氏の後任

増田 富美雄氏を山田俊彦氏の後任

に選任するとともに、他の8名について留任とすることについて審議し、原案どおり議決された。

イ 平成22年度業務計画(案)及び収支予算(案)について審議し、原案どおり議決された。

ウ 平成21年度認定試験結果について

平成21年度の認定試験は、新規申請試験2件、更新試験3件、追加確認試験（RV車へ）1件及び追加試験1件について、新潟県

及び北海道で認定試験を実施、平成22年3月15日の認定委員会の答申に基づき審議し、原案どおり議決（すべて合格）した。

エ タイヤ滑り止め装置認定関係諸規程の全部改正について

これまで認定委員会の決議に基づき、その都度一部改正を行ってきた「タイヤ滑り止め装置認定関係諸規程」について、各規程間の整合性及び規程全体の整合性を図るための全部改正について審議し、原案どおり議決された。

## 2 評議員会の開催

### (1) 平成21年度第1回評議員会

平成21年5月26日 「東京グランドホテル」にて開催

ア 平成20年度の業務報告、収支決算報告及び平成21年度収支予算(案)について審議し、原案どおり議決された。

イ 当協会に加盟する滑り止め装置を製造・販売する団体で組織する3つの専門委員会について、加盟団体の減少等により、1団体に統合した「滑り止め装置専門委員会」とする規約の改正が行われたことについて報告がなされた。

### (2) 平成21年第2回評議員会

平成22年3月16日 「仏教伝道センター」にて開催

ア 平成22年度業務計画(案)及び収支予算(案)について審議し、原案どおり議決された。

イ 理事及び評議員の改選年であることから、

理事の奥田 慶一郎氏を清水 一郎氏の後任に選任するとともに、他の7名について留任とすることについて了承され、改選手続きを行うこととなった。

ウ 平成21年度認定試験結果及びタイヤ滑り止め装置認定関係諸規程の全部改正について、了承された。

## 3 認定委員会の開催

### (1) 第37回認定委員会

平成21年11月17日 「三田福祉会館」にて開催

ア 平成21年度認定試験について

平成21年度の認定試験実施要領について検討を行うとともに、新潟県に3名及び北海道に2名の認定委員を派遣することとした。

イ 次期コントロールタイヤ等の選定について

審議の結果、今年度ブリヂストン製の「ブリザックレボGZ」を次期コントロールタイヤ候補として、2年間試験実施することとなった。また、タイヤサイズについては、「195/65R15」とすることとした。

ウ タイヤ滑り止め装置認定関係諸規程の全部改正について

「タイヤ滑り止め装置認定関係諸規程」について、各規程間の整合性及び規程全体の整合性を図るための全部改正について審議し、原案どおり議決された。

## (2) 第38回認定委員会

平成22年3月15日 「三田福祉会館」にて開催

ア 平成21年度認定試験結果の判定

平成21年度認定試験結果について審議し、申請6件及び追加試験1件について全て合格とした。

なお、「イタリア提案のISO基準チェーン」による試験実施結果の検討とともに来年度の試験方法等について検討を行った。

イ ABS参考試験実施結果（平成14年度以降）の検討

平成9年度から平成13年度までのABS参考試験実施結果を踏まえ、平成14年度以降の参考試験実施結果について検討を行い、ABS制動による試験の実施に向けて、今後、技術分科会との合同でさらに検討を行うこととした。

## 第3 平成21年度業務推進事項

### 1 タイヤ滑り止め装置認定関係諸規程の全部改正

これまで、認定委員会等で議決した事項について、その都度一部改正を行ってきたが、内容の変更は行わず、議決事項の記載漏れや各規程間の整合性等を図る目的で全部改正を行った。

### 2 認定試験の実施

今年度の認定試験は、10月31日に締め切り、受験数は

- 新規認定試験 2件
- 更新試験 3件
- 追加確認試験 1件
- 追加試験 1件（昨年度未実施分）
- 自主参加 1件

の計8件の受験となり、昨年より2件の増加となった。

なお、今年度から3年計画の「イタリア提案のISO基準」の「基準チェーン」を作製し、認定試験と合わせて試験実施を行った。

認定試験は、

○ 本州地区(新潟県津南市)で平成22年2月3日～4日

○ 北海道地区(士別市)で平成22年2月15日～20日

で実施した。合否については、平成21年度第2回理事会のとおり。

### 3 認定品の普及及び広報活動

#### (1) 「認定製品一覧表」の作成配布(資料1)

今年の「認定製品一覧表」は、450部作成し、警察関係(133部)、高速道路関係(90部)、交通関係(90部)及びメーカー等(80部)に配布した。

#### (2) メーカー等と協力しての広報活動

##### ア 立て看板の設置による広告(資料2)

平成21年12月15日、

群馬県渋川市赤城町長井小川田2656-1

関越道脇に設置した。設置期間は1年間である。

##### イ 読者プレゼントの実施(資料3)

メーカーから12ペアの非金属製チェーンの提供を得て、12月8日読売新聞夕刊に読者プレゼントを実施、1,688通の応募(去年は、1,763通)があった。

#### (3) 他団体等が主催する交通安全に関する催し物への参加・協力

##### ア NEXCO東日本冬のセーフティドライブ協賛

平成21年12月5日、関越自動車道「赤城高原サービスエリア」で開催された「NEXCO東日本冬のセーフティドライブ」に参加、認定品の普及及び交通安全活動を行った。

##### イ NHK教育テレビ番組への協力

NHK教育テレビ「住まい自分流 ～冬のドライブを安全に」の番組及びテキストに金属製チェーンとともに非金属製チェーンを提供し、タイヤチェーンの紹介・説明((社)日本自動車連盟が実施)に協力した。

##### ウ 全国交通安全運動等への協力

ポスター等の掲示のほか、交通安全についてタイヤチェーン関係団体等を通じて、啓蒙を図った。

#### (4) NEXCO東日本冬期パンフレットへの要望

NEXCO東日本は、関越自動車道の関越トンネル通行に関するパンフレットを作成配布している。同パンフレットに記載されている非金属製タイヤチェーンが現在販売されていないもの及びケーブル式タイヤチェーンが記載されていないことから、NEXCO東日本と協議を行い、現在の認定製品の写真掲載と、ケーブル式タイヤチェーンも関越トンネルを通行できる旨の表示をすることについて要請を行い同パンフレットに掲載されることとなった。